

特別展

中世むなかたの祈り展

[開催期間]

10/1月~11/4日

観覧無料



宗像に響く、仏への祈り。



海の道むなかた館 (宗像市郷土文化学習交流館)

秋の特別展 中世むなかたの祈り展

玄界灘を縦横無尽に駆けめぐり活躍していた「むなかた海人」の航海安全、祈願成就の精神的な支えとなっていた「海神」への祈りは、宗像大社の三宮（沖津宮、中津宮、辺津宮）に鎮座される「田心姫神」「湍津姫神」「市杵島姫神」へささげた国宝「沖ノ島祭祀遺跡出土品」や大島御嶽山遺跡、辺津宮高宮祭場出土の祭祀遺物に見られる華やかな「古代むなかたの祈り」を示しています。

今回の展示は、古代の華やかな国家的祭祀が終わり、再び宗像の地が隆盛する中世（平安時代から室町時代）。「宗像大宮司家」と宗像地域の人々の精神的な支えとなっていた仏の教えの一端にふれることで、「中世むなかたの祈り」をあらわしています。

宗像に現存する七体の貴重な仏像を展示

特別展の七体の仏像は、都の風を感じるものや地域の強い願いを感じるものなどさまざまです。とくに、県指定の十一面観音立像は、平安時代の仏像の趣が感じられます。平山大師堂に安置されている阿弥陀如来像と天部形立像は、平安時代、都で流行った寄木造りの技法でつくられた仏像で、使用された部材もカヤやヒノキを使うなど、職人の技が見て取れます。



平山大師堂・阿弥陀如来像



大日堂・木造大日如来像



長宝寺観音堂・木造不動明王像



長宝寺観音堂・木造十一面観音立像



平山大師堂・天部形像



長宝寺観音堂・木造天王像(甲)



長宝寺観音堂・木造天王像(乙)

「山田増福院文書」より「山田増福院御縁起」を公開

山田地蔵尊増福禪院に収蔵される宗像市指定文化財「山田増福院文書」の公開は、同寺院以外では初めてとなります。今回展示する「山田増福院御縁起」は、宗像大宮司家のお家騒動を画題としており、なぜ「山田地蔵尊」とよばれるのかが読み取れる画面の彩りも鮮やかな逸品です。



謀略の中で非業の死を遂げた宗像大宮司氏雄の正室・菊姫とその母である山田局、4人の侍女が亡霊となり、自分たちに白刃を向けた者達を祟る様などを写実的に描いています。

「山田増福院御縁起」下巻



「山田増福院御縁起」

 海の道むなかた館 (宗像市郷土文化学習交流館)

[住所] 宗像市深田588 [TEL] 0940-62-2600 [開館時間] 9:00~18:00 [休館日] 毎週月曜日(月曜日が祝日の場合は翌日)

むなかた電子博物館 <http://d-munahaku.com/index.jsp>